

# 『ジオテキスタイル補強土普及委員会』の発足について

財団法人 土木研究センター

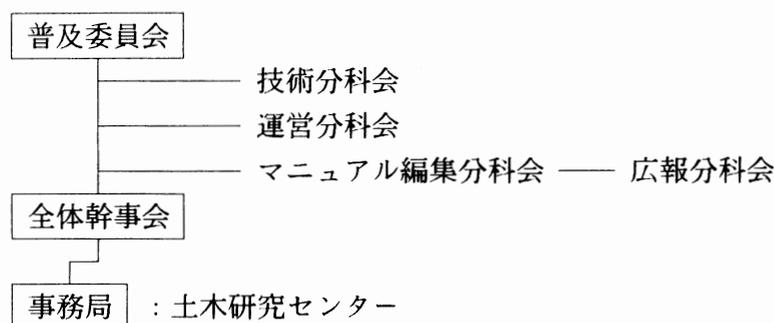
## 1. はじめに

昭和63年度から平成2年度まで実施された建設省及び民間20社の共同研究『ジオテキスタイルを用いた補強土工法の合理的な設計・施工法に関する研究』の成果として、表題のマニュアルが土木研究所によって平成3年3月にまとめられた。この成果を一般に普及するために、同共同研究に参加したメンバーによって、財団法人土木研究センター内に『ジオテキスタイル補強土工法普及委員会』（委員長久楽勝行）が平成3年9月に組織化された。以下では、この普及委員会の活動内容の紹介とその成果である一般普及用マニュアル並びに設計用プログラムについて紹介することとする。

## 2. ジオテキスタイル補強土工法普及委員会の活動について

ジオテキスタイル補強土工法普及委員会は①一般用設計・施工マニュアルの編集，②同マニュアルに基づいた設計プログラムの作成（盛土補強工法・補強土壁工法），③工法の普及活動（講習会他），④工法に関する技術的検討等を目的とする。

なお、本普及委員会の組織構成は下図のとおりである。



また、委員のメンバーは以下のとおりである。

- ・土木研究所機械施工部：土質研究室，施工研究室，動土質研究室
- ・民間会社：鹿島建設髹，髹熊谷組，佐藤工業髹，清水建設髹，大成建設髹，髹竹中工務店，髹竹中土木，鉄建建設髹，東急建設髹，東洋紡績髹，東レ髹，日本舗道髹，髹間組，復建調査設計髹，不動建設髹，前田建設工業髹，三井建設髹，三井石油化学工業髹，三井石化産資髹，ユニチカ髹（50音順）
- ・事務局：髹土木研究センター

### 3. ジオテキスタイル補強土工法設計施工マニュアルについて

建設省土木研究所資料書第3117号『ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル』（'92.3）を一般に普及するために、これをA5サイズ約300頁に再編集した。その目次構成は以下のとおりである。

- 1章 本マニュアルの目的と適用
- 2章 ジオテキスタイルの特性評価
- 3章 盛土補強工法
- 4章 補強土壁工法
- 5章 軟弱地盤対策
- 6章 耐震設計
- 7章 ジオテキスタイルによる新しい補強土工法  
（連続繊維補強土工法，擁壁土圧低減工法，軟弱地盤上の道路への適用，深層混合処理工法との併用による沈下対策）

### 4. 設計プログラムについて

上記マニュアルの盛土補強工法及び補強土壁工法の設計法は、単純な条件に対する簡便な設計法や図表が利用できるようにしてある。この設計法を一般の複雑な条件にも対応できるようにするために、パソコン仕様の設計プログラム（GEO-E，GEO-W）の開発を行った。その特徴は以下のとおりである。

- ①対話形式で設計ができ、その結果を報告書のスタイルで出力できる。
- ②補強材の材料選定（最大5種類），敷設枚数，敷設間隔が自動決定でき，必要によって設計者の判断によりそれらの値を変更できる。
- ③常時・地震時の両方の検討ができる。また，どちらかを単独に検討することもできる。
- ④常時と地震時の両方を検討した場合，経済比較によって補強材及びその配置を最終決定できる。
- ⑤パソコン対応機種はNEC及びIBMであり，OSはMS-DOS，V3.3及びV3.2以上。  
付図は対話画面及び計算書の例である。

### 5. 今後の予定

ジオテキスタイル補強土工法普及委員会では、この工法の普及のために上述のマニュアル及び設計プログラムを販売することとしている。既に設計プログラムは販売を開始し、設計・施工マニュアルについては4月に発刊の予定である。更に、この工法を理解していただくための講習会を東京・大阪（5月）をはじめ主要都市において開催する予定である。（上記問い合わせ先：観土木研究センター：荒居03-3835-3609）

